



**シラバス参照**

タイトル「**2016年度 経済学部シラバス**」、フォルダ「**2016年度 経済学部シラバス**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	市場経済論		
担当教員	<a href="#">大澤 健</a>		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	金 2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 1年次		
科目名 (英語表記)	Market Economics		
授業の概要・ねらい	<p>経済学は、私たちが暮らす社会である「市場経済」について学びます。市場で取引されるものを「商品」といいます。そして、商品は貨幣を通じてやりとりされます。これは当たり前のように思うかもしれませんが、「市場」や「商品」、「貨幣」というお馴染みの言葉も、改めて説明するとなるとなかなか難しいものです。この講義では、こうした経済学の基本的な用語にそって、市場メカニズムの特質や、貨幣の機能と通貨の仕組みなど、この社会の基礎的な仕組みと運動の原理を説明していきます。</p>		
授業計画	回	内容	
	1	ガイダンス	
	2	第1章 商品 ①市場とは何か	
	3	②市場経済の原理と特質	
	4	③市場経済と社会全体	
	5	④市場経済と価格メカニズム～「需要と供給の一致」の意味	
	6	⑤商品の価格は何によって決まるのか？	
	7	⑥労働価値論という奇妙な理論とその系譜	
	8	第2章 貨幣 ①貨幣とは何か	
	9	②貨幣の諸機能 その1 価値尺度機能と流通手段機能	
	10	③貨幣の諸機能 その2 流通手段機能のつづき	
	11	④貨幣の諸機能 その3 貨幣としての貨幣	
	12	⑤銀行信用のメカニズム	
	13	⑥国際的な通貨システム その1 金本位制度とその破綻	
	14	⑦国際な通貨システム その2 ドル本位制度と管理通貨制度	
15	⑧ふりかえり		
到達目標	<p>「市場経済」の仕組みと理解するとともに、貨幣の基本的な機能と通貨制度を知ること、市場経済の基本的な特徴を理解する。それによって、これから経済学を学んでいくための基盤的な知識を獲得することを目指している。当たり前のように暮らしているわれわれの「社会」を体系的に理解する姿勢と、その方法について学ぶことを目標としています。</p>		
	定期試験の成績によって評価するが、講義中に課すレポートを加点要素として考慮する。つまり、レポートを提出しな		

成績評価の方法	くても減点することはありませんが、出しておくプラスになります。
教科書	柴田信也編著『政治経済学の再生』創風社 2011
参考書・参考文献	講義中に適宜指示する。
履修上の注意・メッセージ	市場経済論と経済原論はセットになっています。この順番で両方を受講するようにしてください。
履修する上で必要な事項	準備などは特に必要ありませんが、普段から「経済」について興味を持っておいってください。
受講を推奨する関連科目	上記のとおり、この科目を履修後に「経済原論」を履修することを勧めます。
授業時間外学習についての指示	レポート課題については、授業時間内にしっかり作成してください。
その他連絡事項	

